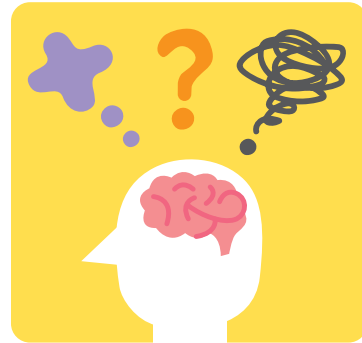


## 認知症の早期発見と 早期対応に 取り組んでいます



2025年には高齢者の5人に1人、約700万人が認知症になると予測されています。認知症にはいくつかの種類があり、それにより治療方法なども異なるため、早期に正確な診断をし、適切に対処することが重要です。

### ▶ 「認知症疾患医療センター」とは

都道府県や政令指定都市が指定した病院に設置される専門医療機関です。兵庫医科大学病院には、兵庫県の委託を受けて2009年に設置されました。

### ▶ 専門医療相談を行っています

お電話、もしくは来院（電話予約要）によるご相談を看護師・ソーシャルワーカーがお受けしています。



ご本人やご家族からお困り事などをお聞きします

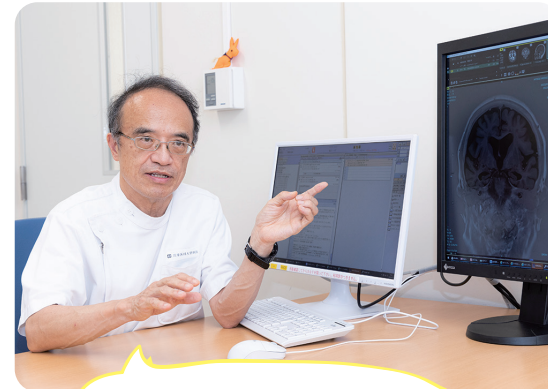
- 生活する上でのアドバイス
- 必要であれば受診のご案内
- 介護保険サービスなど社会資源のご案内 など

相談は年間約900件、  
その中で受診されるのは約200人。



### ▶ 専門医による鑑別診断では

かかりつけ医の紹介を受け、認知症かどうか、認知症であるならばどのような治療が可能かなど、詳しく検査し診断します。



正常な状態と認知症の間にあたる  
MCI（軽度認知障害）と  
診断される割合が最多。  
認知症以外の病気が判明することも。

かかりつけ医からのご紹介

初診時

専門医が詳しくお話を伺い、  
簡易認知機能検査を実施

各種検査

MRI、SPECT（脳の血流撮影）検査、  
脳波検査、心理検査など

結果説明

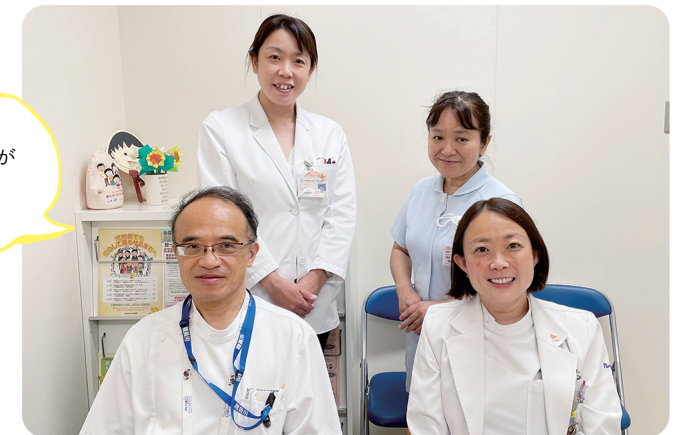
専門医より検査および鑑別診断の結果を説明  
※診断後はかかりつけ医や認知症サポート医での  
診療をお願いしています。

### ▶ 当センターの特徴

脳血流シンチグラフィをはじめ、大学病院ならではの詳細な検査が可能です。かかりつけ医との連携を強固なものにするために研修会を頻繁に開催しているほか、講座等にて認知症に関する情報発信も積極的に行っています。

現在の状態を正確に知り、  
進行予防や治療に取り組むことが  
非常に大切です。

兵庫医科大学病院の認知症疾患医療センターには、脳神経内科医師3名、精神科神経科医師2名、看護師1名、ソーシャルワーカー1名、公認心理師1名が在籍しています。



## 早期発見・早期対応を行い、 患者さんとご家族の生活の向上に努めています

超高齢社会になったわが国では、認知症患者は急激に増加し、今後もさらにその傾向が続くと予想されます。それゆえ、認知症の予防および早期発見・早期対応のためにも専門医療機関の受診が大変重要です。当センターでは、複数の画像検査を用いた鑑別診断、かかりつけ医の先生方との地域連携体制の構築、診断後支援などを行っています。「もの忘れなどの症状がある」「認知症かもしれないと不安」などの場合は、かかりつけの先生に当センター受診についてご相談ください。今後も、患者さんとご家族に疾患をご理解いただき、生活の向上を図れるように頑張っています。

認知症疾患医療センター センター長 たけだ まさなか 武田 正中



## 電話相談から診断後の進行予防までサポート

住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、専門医療相談や診断後の個別面談などを通じてサポートに努めています。進行予防のために、MCI程度の患者さんとご家族に向けて講義や運動などを織り交ぜたプログラム「四季の会」も実施しています。

認知症疾患医療センター 看護師 ほりた まきよ 堀田 牧代



気になることがあれば、専門医療相談をご利用いただくか  
かかりつけ医に当センター受診についてご相談ください

専門医療  
相談

TEL 0798-45-6050

受付時間：月～金 9:00～12:00 / 13:00～16:00

鑑別診断  
完全予約制

ご希望の場合は、かかりつけ医に相談し紹介状をお持ちください。診察の際は、一緒に生活されている方や状況をよくご存じの方のご同伴をお願いいたします。  
※詳しくはお電話でお問い合わせください。※診断に関する費用は保険診療となります。